

計画の名称	阿見町宅地耐震化推進事業（液状化ハザードマップ）（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度～令和02年度（1年間）										重点配分対象の該当		○	
交付対象	阿見町													
計画の目標	液状化ハザードマップを作成・公表することにより、住民自らが液状化の仕組みや危険性等被害リスクを正しく理解し、事前の対策を行えるようハザードマップを作成する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		8	A	8	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R2末
1	液状化ハザードマップを公表することで、住民などが液状化のしくみや危険性を理解し、液状化による被害の軽減を図る。			
	阿見町における液状化マップの公表率	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	阿見町	直接	阿見町	－	－	宅地の液状化による変動 予測調査	液状化マップ作成	阿見町	■					8		－
											小計						8		
											合計						8		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画の事後評価として阿見町が実施	令和3年3月
	公表の方法
	阿見町HPにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	液状化ハザードマップを作成・公表することにより、町民が液状化の仕組みや被害を防止する対策の意識が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	液状化発生傾向が強い地域を把握することで、住民の防災意識が向上した。
○特記事項（今後の方針等）	
個人で出来る対策とは別に、町として災害対策支援を行い、液状化被害の軽減を図っていく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	